



# 奈良県感染症情報

平成 29 年 第 52 週(12 月 25 日～12 月 31 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザ注意報発令です!

### 今週の概要

- 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	12.74	(9.93)	↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	5.29	(5.26)	→	↑	→	↑
3	RS ウイルス感染症	1.85	(2.24)	↓	→	↓	↗
4	A 群溶連菌咽頭炎	1.74	(1.29)	↓	→	↓	↓
5	水痘	0.59	(0.88)	↓	↓	→	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↓**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点当たり報告数が注意報開始基準値「10」を超えましたので、インフルエンザ注意報発令です。今後、更に増加し本格的に流行するとみられます。マスク・手洗い等の感染予防(かからないように)、咳エチケットによる感染拡大防止(うつさないように)を心がけてください。特に、小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫が低下している方では肺炎を伴う等、重症化することがあります。小児や高齢者がいる家庭や職場などに、持ち込まないようにする事が重要です。適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控えるなども感染予防には重要です。

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

12月中旬以降からインフルエンザが大流行しました。A型とB型ともに検出されています。症状は例年通りで発熱が出現して、咳が主体です。B型では初期に腹痛や嘔気があり、感染性胃腸炎と紛らわしい場合もあります。一方、感染性胃腸炎は例年になく少ない状態が続いています。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが流行、インフルエンザ一色という程度ではない。

A,B混在。B型は下痢など消化器症状を伴う例も多い。

他に水痘、流行性耳下腺炎、A群溶連菌感染症があった。

#### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザは散見のみ、大きな流行はない。感染性胃腸炎は増多、ノロウイルスに加えロタウイルス感染もみられた。

RS ウイルス感染症の流行は続いている。またアデノウイルス感染症やヘルパンギーナもみられた。



《進撃の咳エチケット》(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 29 年 第 52 週 12 月 25 日 ~ 31 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部		
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野			
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3			
インフルエンザ	688 (12.74)	263 (18.79)	98 (7.00)	150 (13.64)	134 (13.40)	12 (6.00)	31 (10.33)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2		
RSウイルス感染症	63 (1.85)	8 (0.89)	14 (1.56)	27 (3.86)	11 (1.83)		3 (1.50)		
咽頭結膜熱	16 (0.47)	6 (0.67)	2 (0.22)	1 (0.14)	6 (1.00)		1 (0.50)		
A群溶連菌咽頭炎	59 (1.74)	17 (1.89)	15 (1.67)	11 (1.57)	14 (2.33)		2 (1.00)		
感染性胃腸炎	180 (5.29)	50 (5.56)	38 (4.22)	51 (7.29)	30 (5.00)	3 (3.00)	8 (4.00)		
水痘	20 (0.59)	4 (0.44)	3 (0.33)	6 (0.86)	5 (0.83)	1 (1.00)	1 (0.50)		
手足口病	5 (0.15)	2 (0.22)	1 (0.11)	2 (0.29)					
伝染性紅斑	3 (0.09)		1 (0.11)				2 (2.00)		
突発性発しん	10 (0.29)	7 (0.78)	1 (0.11)	2 (0.29)					
百日咳									
ヘルパンギーナ	3 (0.09)	1 (0.11)		1 (0.14)			1 (0.50)		
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)		1 (0.17)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0		
急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎	2 (0.20)			2 (1.00)					
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1		
細菌性髄膜炎									
無菌性髄膜炎									
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		2 (1.00)				1 (1.00)		
クラミジア肺炎									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)		1 (0.50)				1 (1.00)		

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市1、郡山1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市1)
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件(奈良市1) 急性脳炎1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症 1件(吉野1)

❖ 第 52 週のトピックス ❖

・百日咳が全数把握対象疾患になります

<http://www.pref.nara.jp/item/190841.htm#itemid190841>

・風しんと診断した場合には、直ちに届出が必要となりました

<http://www.pref.nara.jp/item/191120.htm#moduleid87028>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段：報告数

(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男		1	7	13	22	16	31	24	34	31	27	65	10	15	10	23	15	13	3	5	365	6196	
	女			2	7	8	9	20	17	29	27	25	58	12	8	15	31	15	12	5	2	323	5896	
RSウイルス感染症	男	4	10	11	2	3	2					1										33	1152	
	女	5	4	6	3	8	1		3													30	1083	
咽頭結膜熱	男			1	1		1	3	1													8	632	
	女			2	1	1	3					1										8	518	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	4	2	3	6	8	3	4	2										33	1897	
	女			5	4	4	4	5		2	3	3										26	1615	
感染性胃腸炎	男	1	6	23	10	7	7	8	8	3	3	1	5	1	8							91	3899	
	女		5	17	10	11	7	5	5	5	3	1	3	2	15							89	3388	
水痘	男				1		2		2						2							7	400	
	女				1	2		4	4	2												13	392	
手足口病	男			1	1																	2	1833	
	女					2		1														3	1496	
伝染性紅斑	男								2	1												3	50	
	女																					3	61	
突発性発しん	男		1	1	1	1																4	448	
	女		2	3	1																	6	392	
百日咳	男																						4	
	女																						7	
ヘルパンギーナ	男		1	1			1															3	357	
	女												1									3	334	
流行性耳下腺炎	男				1				1													3	428	
	女												1									3	394	
急性出血性結膜炎	男																						2	
	女																							
流行性角結膜炎	男								1													1	146	
	女														1							1	137	
細菌性髄膜炎	男																						9	
	女																						10	
無菌性髄膜炎	男																						20	
	女																						8	
マイコプラズマ肺炎	男			2																		2	70	
	女			1																		1	58	
クラミジア肺炎	男																						1	
	女																						1	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1																			1	28	
	女	1																				1	27	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H29 ▲ H28 □ H27 〰 過去10年平均

